

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年11月19日(16:00~16:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 嶋野、平野、中川、福田、木谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	10人	0人	0人	13人

前回の改善計画
継続して事前訪問で、自宅環境の写真等の使用し情報を分かりやすく準備する。 新規の利用者に安心してサービスを受けてもらうために来所時に施設の説明や一日の流れを説明する。 利用開始の際には、積極的にコミュニケーションをとるようにする。 利用初期の様子はなるべく細かく記録を残し、他の職員への共有を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果
事前訪問で、自宅環境の写真等の使用し情報を分かりやすく準備している。 利用開始の際には、積極的に声かけをしてコミュニケーションをとっている。 利用初期の様子は記録をし、又ミーティング等で他の職員への共有を図った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	9	1	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	9	2	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	4	9	0	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	9	1	0	13

できている点
利用前は、事前訪問による自宅環境の情報や、本人や家族の要望、支援方法など共有ができています。又、利用開始後は細かく記録し、ミーティングでの共有ができています。 初期利用の様子は連絡ノートを活用し、また送迎時にも直接会話をして家族とのコミュニケーションをとっている。 本人が慣れていない時期には特に積極的に声かけをしています。

できていない点
事前情報を読み深める時間が少なく、利用開始までに把握ができない事がある。 初期利用の記録の仕方が職員によりまちまちで、細かい情報の共有ができていないことがある

次回までの具体的な改善計画
継続して事前訪問で、自宅環境の写真等の使用し情報を分かりやすく準備する。 初期利用の様子の記録を充実させ、他職員への共有を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年11月20日(16:00～16:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 嶋野、木谷、加納、中川、幸道、平野
加藤え、吉村、加藤ふ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	10人	0人	13人

前回の改善計画
お気に入りの環境で活動ができるよう、施設内の環境を改善していく。
『～したい。』の聞き取り方を工夫してみる。
毎朝、『今日は何したいですか?』等を気軽に聞くことを習慣づけ、利用者の声を拾いやすくする。

前回の改善計画に対する取組み結果
環境整備をし、少人数でのんびりできる部屋を作ったところ、静かに読書を楽しみたい方などに好評だった。
今日は何をしたいかの質問は、フリーすぎて、利用者に答えてもらうことは難しかった。質問の仕方を変える必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	5	8	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	4	9	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	9	0	13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	6	6	0	13

できている点
利用者とは話す機会を出来るだけ多く持ち、個々の思いや希望を聞き取るように努めている。一部の利用者の、身体を動かしたいとの要望があり軽体操を実施、ビールが飲みたいとの声からミニ秋祭りでノンアルコールビールを提供するなど行った。本人の思いを活かせるよう、空間の使い方を工夫したり、必要に応じて個別対応に変えたりなど心がけている。又、有効だった方法を共有している。

できていない点
利用者一人一人にじっくり関わる時間が持てない、または意思疎通が困難な利用者からの発信を受けとることができず、本人の気持ちや意欲を十分に引き出すことができていない。
利用者が希望しているかどうかに関わらず、何かを提案提供してしまっていることがあり、時間や場所、または人員等職員の都合で、本人の望むことの実現ができていないと感じる。

次回までの具体的な改善計画
利用者への質問では、答えやすい選択肢を用意するなどの工夫をして、「～したい」の聞き取りをする。
「～したい」の実現に向けて、分かりやすい表示をする。「～したい」実現の樹を壁画にする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年11月21日 (16:00 ~ 16:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 木谷、加納、中川、福田、幸道、加藤ふ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	12人	0人	0	12人

前回の改善計画
日々の利用者の記録『利用者ノート』を必ず一読してから業務に入るようにする。
利用者、家族の所に足を運ぶ回数を増やし、自宅内環境や以前の暮らし方についての理解を深める。

前回の改善計画に対する取組み結果
業務に入る前に必ず利用者ノートを読んで理解ができた。
自宅環境については、事前訪問や、送迎・訪問での情報を、職員間で共有できているが、以前の暮らし方については、聞き取り・共有が不十分であった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	11	1	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	12	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	7	6	0	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	10	3	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	10	3	0	13

できている点
日々の体調の変化や様子など気になったことは、共有ノートに記録して、各自がチェック、共有している。個々に合わせた介護、訪問時の1対1の対話、自宅環境の把握なども心掛けている。日々の連絡帳の記載を利用したり、送迎時に会話をしたりして、家族の声を聴く機会は増えた。

できていない点
以前の暮らし方を聞き出す為の項目が統一されていないため、具体的に家族や本人から話を聞けていない。本人や家族とゆっくり昔のことを話す時間が持てていない為、以前の暮らし方をしっかり把握できていない。

次回までの具体的な改善計画
以前の暮らし方10の項目を文章化し、本人や家族に聞き取り、職員が共有できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年11月25日 (16:00 ~ 16:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 嶋野、平野、木谷、福田、幸道、吉村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	7人	5	0人	12人

前回の改善計画
<p>地域資源や民生員等、利用者に対し必要な情報整備をしていく。 利用者と家族との関係強化のために支援内容の検討や支援方法の指導をしていく。 独居の利用者に関わっている民生員さんに、運営推進会議への参加を呼びかける。 訪問や送迎の際に近所の方に積極的に挨拶をし、職員の顔を知ってもらえるよう努力する。 継続して独居の利用者に関わる民生委員や地域住民との連絡を密にする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>独居の利用者については、地域の方、民生委員の方に協力を得、支援できている。一方で、きらめきだけしか関わっていない利用者もいて、地域資源の活用を考える必要もある。 支援方法の指導をし、家族が介助することが出来るようになった例もあり、関係強化が実現できた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	6	7	0	
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	8	5	0	
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	9	0	
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	10	1	

できている点
<p>訪問や送迎時に近所の方への挨拶をし、顔を知ってもらおうなどして、地域との関係に気を配り支援することができた。生活状況の把握は、ミーティングで情報を共有している。</p>

できていない点
<p>通常の業務で地域の民生委員と関わるのは一部の職員なので、他の職員はあまり関わりをもてていない。地域の資源の活用の意識不足のため、十分に地域の資源を活用できていないと思っている。</p>

次回までの具体的な改善計画
<p>利用者と家族との関係強化のために、家族の要望を聞き共感し受け入れ、支援内容の検討をする。 継続して独居の利用者に関わる民生員や地域住民との連絡を密にする。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年12月2日 (16:00 ~ 16:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 嶋野 福田 中川 吉村 山岸

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	6人	3人	3人	13人

前回の改善計画
地域とのネットワークを広げるために、職員が近所の方から相談を受けやすいように、事業所の連絡先をお知らせしていく。 徘徊の可能性のある利用者を再度洗い出し、SOS ネットワークへの登録を推進する。 利用者を自宅で支援する方法を、家族に利や指導し、家族の介護力の強化につなげていく
前回の改善計画に対する取組み結果
家族に排泄介助の説明、指導をし、家族の介護力をあげ、訪問をなくすことができた事例があった。 必要に応じて、SOS ネットワークへの登録ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	8	4	1	1
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	12	0	0	0
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	0	13	0	0	0
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	11	1	0	0

できている点
ミーティングでの情報共有のもと、利用者のニーズに応じて、個々の支援に工夫している。 家族に対して、介助の方法などを伝え自宅での介助に活かして貰うように働きかけることができた。

できていない点
家族の思い、介護力の不足を感じながらも、家庭の事情などを考慮すると踏み込めない環境もあり本人の思いを満足させることができなかった。

次回までの具体的な改善計画
利用者を自宅で支援する方法を、家族に説明や指導し、家族の介護力の強化につなげていく 外部の資源を有効に使う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年12月5日 (16:00 ~ 16:30)

6. 連携・協働

メンバー 中川 福田 幸道 加納 川端 加藤ふ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	8人	4人	12人

前回の改善計画
小規模個別でも関係者との連携強化ができるよう担当者が情報発信を継続する。 法人内に子育て支援事業所があるので、一緒に昔遊びを楽しんだりプレゼントを持って行ったりする企画を検討したい。 バーベキュー企画等で、様々な人が自由に参加できる企画を検討したい。
前回の改善計画に対する取組み結果
医療機関・訪問介護・福祉用具等との連携は行なっている。 子育て支援事業との交流や、地域の方が自由に参加できる企画を行なう予定だったが、計画があいまいで実施に至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0	3	6	4	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	5	7	13
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	9	2	2	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	2	7	3	12

できている点
例年通りの地域の奉仕活動や防火訓練、地域を巻き込んだの自事業所の行事などには積極的に参加をしている。また。実習に来る中高校生とのふれあいの機会を持っている。年間を通じて、外食、コンサート、各種イベント参加など、利用者と地域に出向く外出をしている。

できていない点
より専門的な知識を必要とされるため、また職員の時間的余裕がないため、医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所との会議参加などは、一部の職員に限られてしまっている。

次回までの具体的な改善計画
法人内の子育て支援事業所との交流を図る企画を検討し実施する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	2019年12月7日（16:00～16:30）
-----	-------------------------

7. 運営

メンバー	嶋野 福田 平野 山岸 吉川 中川 加藤ふ
------	-----------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	3人	6人	3人	12

前回の改善計画	自事業所の特色等を説明できるように、明文化し、説明するための勉強会を職場会議で実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	事業所の特色について、漠然とした理解はあるものの明文化するに至らず、課題が残った

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	0	4	8	1	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	12	0	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	9	2	1	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	2	8	1	11

できている点	企業と協賛して、認知症カフェや様々なイベントを共同で行っている。 利用者の声は、こまめに拾い、感謝の声、苦情等は皆で共有し、毎日の支援に活かしている。
--------	--

できていない点	家族の意識を上げるための取り組みが少なかったり、日程があわなかったりして、運営推進会議への参加が少なく限られた家族のみである。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	運営推進会議の利用者家族の参加を増やす。参加しやすい曜日、時間、場所について意見をもらう。イベント企画の工夫をする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年12月14日 (16:00 ~ 16:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 嶋野 中川 平野 山岸 福田 吉川 加藤ふ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	3人	0人	12

前回の改善計画	研修の報告書を全員で回覧し、受講内容を勉強できる機会を増やす。 今後も、職員が資格を取得できるような職員の支援を継続する。
前回の改善計画に対する取組み結果	教育委員会を中心に、様々な研修への参加ができ、その内容をミーティング等で報告したり、報告書を回覧したりして共有している。 職員の資格取得を応援し、受講の為に業務体制の協力もできている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	0	9	3	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	9	3	0	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	3	8	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	10	3	0	13

できている点	教育委員会を中心に、様々な研修を提案、参加を呼びかけ受講できている。研修内容はミーティングで他の職員にも伝え共有している。資格取得に向けて、本人だけでなく他の職員も勤務調整等で協力している。 10の基本ケア講座を皆が理解できるように、繰り返し説明、共有を行っている。
--------	--

できていない点	業務に追われていて、ゆっくり研修報告などの回覧物に目を通すことが出来ていない為、他の職員が受けた研修の内容を深く理解できていないところがある。地域連絡会についても、情報と意識不足のため参加できていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	研修の報告書を全員で回覧し、受講内容を勉強できる機会を増やす。 今後も、職員が資格を取得できるような職員の支援を継続する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年12月15日 (16:00 ~ 16:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 嶋野 中川 福田 木谷 吉川 幸道 川端

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	7人	0人	10人

前回の改善計画
様々な制度についての学習会を、職場会議を活用し推進していく。 メディア等からの情報や研修で学習した事を全体に周知する機会を設けていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
疑問点の質問をし、個人的にまたはミーティングで教わることはできたが、会議での学習会は少なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	3	0	0	13
②	虐待は行われていない	7	6	0	0	13
③	プライバシーが守られている	2	9	2	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	5	4	3	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	9	0	0	13

できている点
身体拘束、虐待を行っている職員はいない。介助の際は利用者の思いを汲み取り、プライバシーには配慮をしている。個人情報に関しては、必ずシュレッダーにかけ、情報漏洩することのないよう気をつけている。

できていない点
耳の遠い利用者がある為、一部大きな声でトイレ誘導や声かけをしてしまっている。 成年後見制度を必要としている該当者がいないため、制度を活用する機会がない。

次回までの具体的な改善計画
具体的に内容を計画し、様々な制度についての学習会を、職場会議を活用し推進していく。